



あなたの声に力いっぱい!

公明こうべ

2015年
夏号

KOMEITO
公明党

発行：公明党神戸市会議員団
神戸市中央区加納町6-5-1

<http://www.kobe-komei.net>

平成27年度6月議会

改選後初の定例会市会で論戦 新たな決意で市民の声を市政へ

平成27年7月2日の本会議で徳山議員(北区選出)、高瀬議員(灘区選出)がそれぞれ一般質問に立ち、①学童保育の拡充②通学路の安全対策③市営住宅へのAED設置、他にも特別支援教育支援員の強化、自転車運転安全教室の充実、防犯灯のLED化など市民の声を市政に反映するため多岐にわたり質問しました。

6年生までの学童保育を急げ

神戸市は、平成31年度には6年生までの希望する全員の学童保育を実施する計画を策定しました。徳山議員は、「計画の達成には、保育ニーズが高い場所は児童数が多く、学校の余裕教室の確保が難しいと考える。また、放課後児童支援員の確保が重要であるが、どう取り組むのか」と質問しました。市長は、「平成31年度の保育ニーズは、現在より約



子育て施策の充実のため視察をする公明党議員団

3千人増を見込んでいるため、新たに学校を活用して45か所を整備する予定である。どうしても学校内で確保ができない場合は、民間事業者の活用なども検討し対応したい。また、人材確保につながるよう運営費の拡充に努め、パート職員の登録制度の充実なども図っていく」と答弁しました。

学童保育時間の延長を図る

また、学童保育の開設時間延長について、徳山議員は、「現在19時までの延長は3割に止まっている。近隣の西宮市や芦屋市では全学童保育で既に延長を実施しているが、本市も早急に取り組むべき」と見解を求めました。市長は「周辺都市に比べて、このような分野で遅れを取っているようでは子育てしやすい市とは言えない。取り組みをスピードアップし、開設時間の延長に全力で取り組む」と約束しました。

「ゾーン30」の拡大で通学路の安全確保を進める



ゾーン30が設置された通学路(兵庫区水木通7丁目)

通学路の安全対策として、自動車の時速を30キロに規制する「ゾーン30」が市内23カ所に広がっています。高瀬議員は、「全小学校区で規制区域を検討し、『ゾーン30』を増やしてはどうか。また、ドライバーの識別を高め速度抑制を図るのに有効な路側帯のカラー舗装化を進めるべきではないか」と質問しました。教育長は、「『ゾーン30』の実施や通学路の路側帯のカラー舗装化は、安全確保の面で有効と考えている。現地を確認し、学校や保護者・地域の意見

特別支援教育支援員の 処遇改善を求める

神戸市では特別支援教育支援員は、有償ボランティアとして位置づけられています。高瀬議員は、「近年、対象児童が増加傾向にあることから、仕事として位置づけ、人材を確保する必要があると考える。また、本市への地方財政措置から考えると、同支援員の処遇改善を図るべきでは」と訴えました。

況も含め検討したい」また、市長が、「来年度の予算編成で、少しでも処遇を拡充できないか検討する」と約束しました。



特別支援教育支援員とは

幼稚園、小・中学校、高等学校において障がいのある児童生徒に対し、食事、排泄、教室の移動補助等学校における日常生活動作の介助を行ったり、発達障がいの児童生徒に対し学習活動上のサポートを行ったりする。

拡充の検討を約束

教育長は、「個別の事情が許す限りできるだけ多くの方に弾力的に支援員として子どもたちに関わってもらいたいと考え、有償ボランティアとしているが、今後、他都市の状

市営住宅へのAED設置 で市民の命を守れ

を踏まえながら、関係機関に要請したい」と実施に前向きな答弁をしました。

現在、AEDを設置している「まちかど救急ステーション」は2000か所を超えています。高瀬議員は、「2000か所のうち約6割は民間事業者の協力である。行政もできる

限り公共施設に設置すべきであり、高齢化率が高く、場所が分かりやすい公営住宅へ「AED付自動販売機」なども含めAEDを設置してはどうか」と提案しました。副市長は、「維持管理や盗難対策が必要であることから現時点で設置は難しい。AED付の自動販売機も含め、今後、調査・研究をしていく」と答弁しました。



役に立っているか「政務活動費」



「政務活動」市民報告会を提案

元「自民党神戸市議団」所属の議員による政務活動費（以下、「政活費」）の不正支出が問題になっています。

疑惑報道を受け、神戸市会の交渉会派（所属議員5人以上の会派）で構成する代表者会議を直ちに開催し、実態解明に取り組んできました。

7月29日に開催された代表者会議で、報道された自民党市議自身がアンケート調査の架空発注を認めたことが明らかになり、議員辞職を求め、告発することが相当であると結論を出しました。

不正支出は許さない

「政活費」の不正支出を防止するため、神戸市会では個人で勝手に支出できないよう個人支給を認めず、会派に支給しています。

領収書はもちろん全面公開です。調査の報告書はもとより成果物も議長の求めに応じて公開しなければなりません。

今回の事件も領収書に対する疑惑から露見しましたが、未然に防止できなかったことは、まず自民党神戸市議団の責任とは言え、市会全体としても信用失墜につながるだけに抜本的な防止策を公明党議員団として提案します。

「政活費」で全国初の条例制定

本来、「政活費」は市民生活に役立つ政策提案のための調査や市民への市政報告に要する費用として市民からお預かりしているものです。不正な支出は論外です。



専門家を交え「災害時要援護者支援条例」の検討会議

公明党議員団はこれまでも「公明こうべ」でお知らせしている通り、「政活費」を活用して、「災害時の要援護者支援条例」、「がん対策基本条例」、「手話言語条例」など議員提案で全国初の条例制定を進めてきました。

これらの条例制定には他都市の事例調査や視察はもとより、専門家、関係者の意見聴取などを地道に行い、条例として結実させているものです。

条例制定以外でも様々な政策提案を行っていることは「公明こうべ」にご覧頂く通りです。



聴覚障がい者の方々と「手話言語条例」の成立喜ぶ

市民の批判に耐える活動を

今回の事件で公明党議員団もマスコミから取材を受けました。成果物（調査活動の報告書）をならべ条例制定などの成果を説明いたしました。疑惑報道の流れに沿わないのか報道されることはありませんでした。

私たちは、経理上の防止策はもとより、真に市民のために「政活費」が使われているかどうか市民に判断頂くために、全会派、全議員が1年間の活動報告を行う、「市民報告会」の開催を提案しています。



調査・研究の成果は市民に公開

「政活費」はもともと「調査研究費」と言われていました。問題を調査し、解決策を研究、提案することが本来です。その競争を政党、会派で行ってこそ市民の信頼を回復できるものと確信しています。

この原稿執筆時点ではまだ不正に支出されたものがどうなったのか不明ですが、強制的な捜査権を有さない議会では解明に限界があり、告発の上、司法の手で全容解明を図ってもらうこととしています。

公明党神戸市会議員 紹介

壬生議員（垂水区選出）が副議長に就任

6月19日の本会議で正副議長の選挙が行われ、副議長選挙で53票を獲得した公明党の壬生議員が副議長に選出されました。

新たな体制
で出発

公明党神戸市会議員団

団 長：吉田謙治
副 団 長：大澤和士
幹 事 長：北川道夫
政 審 会 長：沖久正留
副 幹 事 長：堂下豊史
政 審 会 副 会 長：高瀬勝也

議 会

副 議 長：壬生 潤
監 査 委 員：藤本浩二
産 業 港 湾 常 任 委 員 会 委 員 長：菅野吉記
外 郭 団 体 に 関 する 特 別 委 員 会 委 員 長：堂下豊史
市 会 運 営 委 員 会 副 委 員 長：向井道尋
文 教 こ ども 常 任 委 員 会 副 委 員 長：高瀬勝也
未 来 都 市 創 造 に 関 する 特 別 委 員 会 副 委 員 長：軒原順子



きたがわ みちお
北川道夫
東灘区



たかせ かつや
高瀬勝也
灘区



おきひさ まさる
沖久正留
中央区



すがの よしのり
菅野吉記
兵庫区



とくやま としこ
徳山敏子
北区



どうした とよじ
堂下豊史
北区



のきはら じゅんこ
軒原順子
長田区



むかい みちひろ
向井道尋
須磨区



おおさわ かずし
大澤和士
垂水区



みぶ じゅん
壬生 潤
垂水区



よしだ けんじ
吉田謙治
西区



ふじもと こうじ
藤本浩二
西区